関東地方

名前

問1　主要な空港における旅客数の内訳を比較した際、東京国際空港（羽田空港）が「国内移動の拠点」として機能していることを示す具体的なデータの説明として、正しいものはどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）

1. 国際線が占める割合が年々減少しており、現在は国内線専用の空港として特化している。
2. 国際線の利用者数が成田国際空港を大きく上回り、旅客構成のほとんどを海外渡航者が占めている。
3. 旅客数全体を示す指標の中で、国内線の利用者が占める割合が国際線の利用者よりも数倍大きい。
4. 輸出入額の統計において、国内向けの貨物輸送量が国際貨物の輸送量を上回っている。

問2　横浜市、川崎市、さいたま市などは、東京都心部へ通勤・通学する人々が多く住む「ベッドタウン」としての性格を持っています。これらの都市の人口統計における一般的な傾向として、正しいものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 昼間人口よりも、そこに居住している夜間人口のほうが多い。
2. 夜間に都心部へ移動する人が多いため、夜間人口が極端に少なくなる。
3. 他地域からの通勤者が非常に多いため、昼間人口と夜間人口がほぼ一致する。
4. 昼間人口が夜間人口を大幅に上回り、昼夜間人口比率が200%を超える。

問3　ある地域の地形を分析するために、北に位置する高い山の山頂から、南に位置する標高の低い市街地までを直線で結び、その線上の標高の変化をグラフ化した断面図を作成しました。この断面図を作成する際に、地形図から直接読み取る必要がある情報として最も適切なものはどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. 道路の舗装率
2. 市街地の人口密度
3. 河川の流域面積
4. 等高線が示す標高の値

問4　日本のユネスコ世界遺産（文化遺産）とその所在地の組み合わせとして、正しいものを選びなさい。（2020年 秋田県公立入試 類似）

1. 姫路城 – 岡山県
2. 厳島神社 – 山口県
3. 富岡製糸場と絹産業遺産群 – 群馬県
4. 石見銀山遺跡とその文化的景観 – 鳥取県

問5　茨城県、岐阜県、静岡県、山梨県の4県について、土地の様子や産業を比較した統計資料があります。この資料において、茨城県の数値を示す特徴として正しいものはどれですか。（2019年 新潟県公立入試 類似）

1. 4県の中で山地面積が最も小さく、野菜の産出額が1,890億円と最も高い数値を示しており、製造品出荷額も11兆円を超える高い水準にある。
2. 4県の中で山地面積が最も大きく、農産物の産出額は全体的に低いが、中京工業地帯に近い地理的要因から製造品出荷額が最も高い。
3. 4県の中で製造品出荷額は15兆円を超え最大であるが、野菜よりも茶などの工芸作物の産出額に特色があり、山地面積は茨城県よりも広い。
4. 4県の中で果実の産出額が最も高く、山地面積が広いため傾斜地を利用した果樹園経営が盛んだが、製造品出荷額は4県の中で最も低い。

問6　関東地方の東京都のような巨大な消費地の周辺において、移動距離の短さを活かし、鮮度が重要となる野菜や鶏卵などを生産・出荷する農業の形態を何といいますか。（2026年 福島県公立入試 類似）

1. 施設園芸農業
2. 促成栽培
3. 抑制栽培
4. 近郊農業

問7　神奈川県の産業構造において、第三次産業の就業者割合が約75%と非常に高い水準にあり、かつ年間100万人を超える外国人観光客が訪れる背景にはどのような理由がありますか。その理由として適切な説明を選びなさい。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. 県内のほぼ全域が大規模な農業振興地域に指定されており、外国人観光客を対象とした体験型農業が産業の主軸に成長したため。
2. 県庁所在地の横浜市などが国際的な港湾都市として発展し、歴史的な街並みや商業施設が充実しているため、サービス業や観光業が盛んになった。
3. 東京都内からの交通利便性が低いため、県内で独自の自給自足的な経済圏が形成され、それが珍しい景観として外国人に評価されたため。
4. 京浜工業地帯に位置するすべての工場が、近年になって観光施設や高層マンションへと転換され、製造業に従事する者がいなくなったため。

問8　1919年ごろの地形図において、現在の東京都渋谷区松濤付近は「鍋島農場」と呼ばれていました。当時のこの地点で主に見られた土地利用として、最も適切なものはどれですか。（2017年 佐賀県公立入試 類似）

1. 果樹園
2. 針葉樹林
3. 水田
4. 荒地

問9　埼玉県行田市の市街地には、かつての城下町としての構造と、近代以降に発展した地場産業の歴史が共存する景観が見られます。敵の侵入を遅らせる目的で道路をクランク状に曲げた「桝形」と呼ばれる遺構や、明治時代以降に日本最大の産地として発展したある製品を保管するための蔵や鋸屋根の工場が今も残っています。この地域で発展した伝統的な産業として正しいものはどれですか。（2026年 東京都公立入試 類似）

1. 織物産業
2. 陶磁器製造業
3. 足袋製造業
4. 醤油醸造業

問10　群馬県におけるキャベツの出荷量は、3月は約80tであるのに対し、8月には1万tを超えて激増するという統計があります。また、群馬県の栽培地点は、千葉県などの平地の地点と比較して8月の気温が低く保たれているという特徴があります。このような標高の高い地域で行われる農業について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）

1. 夏でも冷涼な気候を利用して、平地での生産が難しい時期に野菜を栽培・出荷する高冷地農業。
2. 化学肥料や農薬を抑え、消費者の健康や環境に配慮して農作物を育てる有機農業。
3. 冬の温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで成長を早めて出荷時期をずらす促成栽培。
4. 大消費地に近い立地を活かして、生産コストを抑えながら鮮度の高い野菜を届ける近郊農業。

問11　2015年の野菜産出額の統計において、1位の北海道に続き、2位に茨城県、3位に千葉県、7位に埼玉県、9位に栃木県と、関東地方の各県が上位に多くランクインしています。このように、大都市の周辺で行われ、消費地に近い利点を生かした農業を何といいますか。（2017年 鳥取県公立入試 類似）

1. 近郊農業
2. 高冷地農業
3. 促成栽培
4. 施設園芸農業

問12　明治政府が輸出を拡大するために1872年に設立した官営模範工場であり、現在は世界文化遺産に登録されている富岡製糸場が所在する、関東地方北西部の内陸に位置する県はどこですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. 三重県
2. 群馬県
3. 福岡県
4. 長崎県

答え合わせ・解説

問1	答え 3 旅客数全体を示す指標の中で、国内線の利用者が占める割合が国際線の利用者よりも数倍大きい。	東京国際空港は成田国際空港と比較して、圧倒的に国内線の旅客数が多いという特徴があります。これは、東京が政治・経済の定点であり、全国各地の地方空港と結ばれているためです。統計資料においても、旅客全体のうち国内線が大部分を占める構成となっており、国際線主体の成田国際空港とは明確な役割の違いが見られます。
問2	答え 1 昼間人口よりも、そこに居住している夜間人口のほうが多い。	ベッドタウンと呼ばれる周辺都市では、朝の時間帯に都心のオフィスや学校へ向けて多くの住民が移動（流出）します。その結果、昼間にその都市に残っている人数は、夜間にそこで寝泊まりしている居住者数よりも少なくなります。つまり、昼夜間人口比率（夜間人口に対する昼間人口の割合）が100%を下回るのがこれらの都市の特徴です。
問3	答え 4 等高線が示す標高の値	断面図は、特定の地点間の地形の起伏（高さの変化）を視覚的に捉えるための図です。そのため、地形図上で標高の等しい地点を結んだ「等高線」を基準にして、各地点の標高をプロットしていく作業が不可欠となります。人口密度や道路の状況、流域面積などは土地利用や人文的な情報であり、地形そのものの起伏を示す断面図の作成に直接は関係しません。
問4	答え 3 富岡製糸場と絹産業遺産群 － 群馬県	富岡製糸場は北関東の群馬県に所在しています。他の選択肢について、姫路城は兵庫県、石見銀山は島根県、厳島神社は広島県に位置しているため、これらは誤りです。地理的な位置関係を正しく把握しておくことが重要です。
問5	答え 1 4県の中で山地面積が最も小さく、野菜の産出額が1,890億円と最も高い数値を示しており、製造品出荷額も11兆円を超える高い水準にある。	統計データを見ると、茨城県は他の3県と比較して山地が少なく平坦な土地が多いため、大規模な農業が可能です。その結果、野菜の産出額は4県の中で突出して高く、近郊農業の強みが表れています。同時に、製造品出荷額も11兆円を超える規模であり、農業と工業がバランスよく、かつ高いレベルで発展していることが読み取れます。山梨県や静岡県は果実の産出額に強みがありますが、野菜の産出額や土地の平坦さでは茨城県が上回ります。
問6	答え 4 近郊農業	大都市の周辺という立地条件を最大限に活用した農業形態です。消費者に近い場所で生産することで、収穫から店頭に並ぶまでの時間を短縮できるため、鮮度が品質に直結する生鮮野菜や卵などの生産が盛んに行われています。
問7	答え 2 県庁所在地の横浜市などが国際的な港湾都市として発展し、歴史的な街並みや商業施設が充実しているため、サービス業や観光業が盛んになった。	神奈川県は東京に隣接し、日本最大級の人口を抱える都市圏の一部を形成しているため、消費活動を支える第三次産業が必然的に大きくなります。特に横浜は開港以来の歴史的背景を持ち、異国情緒ある景観や中華街、みなとみらい地区などの観光資源が豊富なため、ビジネス客だけでなく多くの外国人観光客を惹きつける産業構造が構築されています。第一次産業の割合が極めて低いのは、土地利用が高度に都市化・工業化されていることの裏返しです。
問8	答え 1 果樹園	大正時代初期の地形図を確認すると、現在の松濤周辺は「鍋島農場」として利用されており、地図上には果樹園を示す記号が広がっていました。この地名は、明治維新後に旧佐賀藩主の鍋島家が茶園や果樹園を営んだことに由来しています。当時の郊外農地が、その後の時代を経て現在の姿へと移り変わっていった歴史的背景があります。
問9	答え 3 足袋製造業	埼玉県行田市は、忍城の城下町としての歴史を持ち、江戸時代から足袋の製造が始まりました。明治から大正時代にかけてはミシンの普及により生産量が急増し、日本最大の足袋産地となりました。このため、市街地には製品を保管するための「足袋蔵」や、作業効率を高めるために北側から安定した光を取り入れる「鋸屋根（のこぎりやね）」の工場が数多く建てられ、現在も城下町特有の「桝形」の道路構造とともに独自の景観を形成しています。
問10	答え 1 夏でも冷涼な気候を利用して、平地での生産が難しい時期に野菜を栽培・出荷する高冷地農業。	群馬県の嬬恋村などに代表される地域では、標高が高いことによる「夏に冷涼な気候」を活かした農業が行われています。平地の気温が上昇し、キャベツなどの生育が難しくなる8月前後に収穫時期を合わせることで、市場への安定供給と高い収益を実現しています。冬の温かさを利用する「促成栽培」や、都市への近さを利用する「近郊農業」とは、利用する自然的・社会的条件が異なります。
問11	答え 1 近郊農業	東京などの大消費地を控える関東地方では、市場への近さを生かして新鮮な野菜を迅速に出荷する農業が発達しました。統計で上位に入っている茨城県や千葉県は、その代表的な地域です。輸送距離が短いため、鮮度を保ったまま市場に供給できることが大きな強みとなっています。
問12	答え 2 群馬県	富岡製糸場は、明治政府が外貨獲得のために高品質な生糸を大量生産する目的で、現在の群馬県富岡市に設立しました。群馬県は江戸時代から養蚕業（カイコを飼って繭をとる産業）が盛んであったため、原料となる繭の調達に非常に有利な条件が整っていました。長崎県などは「明治日本の産業革命遺産」として別の世界遺産に関連していますが、富岡製糸場は群馬県に位置します。